
春の丘

擾巳

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

春の丘

【Nコード】

N5258D

【作者名】

擾巳

【あらすじ】

森の奥の人間の世界とは隔離された春の妖精たちのお話です。

人の住む街から外れた森の奥に‘春の丘’と呼ばれる里がありました。

そこに住んでいるのは春を守る季節の妖精でした。

妖精たちは春の植物の種を植えて花を咲かせたり、動物たちに春を知らせるため暖かな陽気をあちこちへ振りまいたりと大忙しです。

そんなある日のことです。妖精のナリーは妖精の仕事を怠けて桜の花弁の中で昼寝をしようと桜の木を探していました。

けれども、いくら探しても桜の木は一本も見当たりません。

仕方なく町外れの野原にある、ただの痩せた木の枝の上で眠ることにしました。

ゴォーン！

大きな音がしてナリーは飛び起き辺りを見渡しました。真っ暗です。どのくらい寝ていたのでしょうか。

するともう一度

ゴォォーン。

音の大きさはナリーの小さな羽を震わせるほどでした。

ナリーはやっとこの音が森にある教会の鐘の音であると気付きました。

春の丘にある教会の鐘は錆びて所々茶色くなっていますが、その音はどこまでも聞こえる大きな鐘でした。ですが、その鐘は何かがあった時にしか鳴らされないのです。

「どうしたんだろう？」

お気楽なナリーでも鐘の鳴らされた理由が気になって、ふわふわと

町の方へ飛んで行きました。

町では一つ一つの家に明かりが灯り、夜空に輝く星のようでした

「星みたい。キラキラして」

ナリーが見とれていると明かりの方から多くの仲間が飛んできました。

「ナリー！何処にいたの」

「ナリー早く！」

みんなが緊迫した顔でナリーを急ぎ立てます。

ナリーは訳が分からず尋ねました。

「ねえ！どうしたの？何をそんなに急いでるの？」

「ナリー！早く、早く森の教会へ」

みんなはそれだけを言ってナリーを引っ張って森の教会へ連れていきました。

ゴオオン。ゴオオン

教会ではまだ鐘が鳴り続けています。

ナリーは扉の前に立ちそつと扉を押ししました。

周りでは多くの仲間が花を持っています。

教会の鐘が鳴るのは二つの場合のみ。

春の精が命を授かった時

そしてもう一つは妖精としての命が尽きる者があるときなのです。

扉を開けると道があり、その先にいる年老いた妖精にナリーは駆け寄りました。

今夜寿命が尽きるのは、ナリーが大好きなお爺さんだったのです。

お爺さんに抱きつけば白い長いお髭が揺れ、そのたびにお爺さんの笑顔も揺れたのです。

「遅くなつてごめんなさい」

お爺さんは前よりも痩せた皺だらけの手でナリーの頭を撫でてホホホツと笑いました。

「ナリーのことじゃ、桜の木の傍で寝ていたのじゃろう？」

「うん、さすがお爺ちゃん、何でもお見通しね。寝てたら、こんな時間に、なっっちゃって・・・ッ」

ナリーは涙を抑えることができませんでした。いくらいつものように明るくい口調で喋っても、涙は止まらないのです。

「ホホホツ。ナリーは怠け者じゃのう。そんなんじゃ一人前にはなれんよ」

泣き喚くナリーをお爺さんは優しく宥め言いました

ナリーは涙の止め方が分からないままお爺さんの話を聞きました。

「ナリー。よくお聞き。ワシは今まで沢山のことをお前に教えてきた。これが最後の教えだ」

最後という言葉がナリーの胸に突き刺さって抜けません

「泣いても良い。辛いとき、涙を隠す理由なんてない。だから、泣きなさい。でもいつかはまた笑ってくれるといい」

それを聞いているうちにナリーは穏やかに笑いました。

涙は止まらないけれど、自然に笑顔になったのです

それを優しい顔で見るとお爺さんは多くの光の粒となり外へ散っていききました。

次の日、ナリーが昼寝をした痩せ細っていた木は立派に花を付けていました。

何よりも美しいピンクの花を――

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5258d/>

春の丘

2010年10月17日03時21分発行